

# シャーシシェアリングの社会実装に向けた課題と対応

---

関東地方整備局 港湾空港部

令和5年3月

- シャーシシェアリング実証実験や当該研究会等での議論を踏まえ、シャーシシェアリングの社会実装にあたって想定される課題（第5回研究会にて整理）について、対応方針を取りまとめた。
- 今後も引き続き社会実装に向け検討を行っていく。

対象		課題		社会実装に向けた対応方針	資料2 該当頁
シャーシシェアリング利用者		1-1	利用者の条件設定	・安全確保・コンプライアンスを考慮した利用者（陸運事業者）の条件の設定について検討する必要がある。	-
手続き	事業用ナンバー、車検証の変更	2-1	車検証変更手続きの簡素化措置の継続	・車検証変更手続きの簡素化措置の継続方法について関係機関と検討する必要がある。	-
	相互使用協定	2-2	相互使用協定の効率的な締結	・シャーシシェアリング利用申込と併せて相互使用協定を締結する。	-
	特殊車両通行許可	2-3	効率的な申請（運営者or利用者）	・特殊車両通行許可申請については、利用者が行う。なお、効率的な申請にあたっては特殊車両通行許可確認制度の活用が考えられる。	18
準備	シェアリングシャーシ	3-1	稼働率を考慮したニーズの高い種別のシャーシの配置	・種別は20ft、40ft、兼用を配置する。 ・シャーシプールの設置場所により利用者のニーズが異なることが想定されるため、シャーシプール毎に種別ごとの配置台数を検討する必要がある。	2,20,21
	利用ルール	3-2	コンテナターミナルのゲートオープン時間を考慮した貸出・返却時間	・実証実験では5時～19時までの利用実績が確認されたことから、コンテナターミナルのゲートオープン時間帯に対応した早朝の時間帯も含めた貸出・返却時間を設定する必要がある。	3,4,22,23,24
		3-3	予約の変更・キャンセル方法の見直し	・予約システムを用いて利用者が予約変更・キャンセルを行う。	25,26

対象		課題		社会実装に向けた対応方針	資料2 該当頁
準備	シャーシプール	3-4	ニーズの高い地区へのシャーシプールの設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主要なコンテナターミナル付近にシャーシプールを設置する。</li> <li>・横浜港については南本牧ふ頭、本牧ふ頭（BC及びD突堤）、新本牧ふ頭において将来的な土地利用を考慮し検討する必要がある。</li> </ul>	6,7,8,9,10
		3-5	オンシャーシ駐車場のニーズへの対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空及び実入コンテナのオンシャーシ駐車についてはニーズが確認されたが、実入コンテナについてはセキュリティの確保等の課題があることから、必要な設備やルール等を検討し駐車条件を設定する必要がある。</li> </ul>	11,12,13
	シェアリングシャーシの位置情報	3-6	位置情報管理端末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験においてシェアリングシャーシの管理等に位置情報が有用であることが確認されたことから、位置情報端末を設置する。</li> </ul>	14,15
		3-7	位置情報の提供および利用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・位置情報の提供範囲（陸運事業者・荷主など）や情報の取り扱い等に関するルールについては検討する必要がある。</li> </ul>	14,15
	予約システム	3-8	予約ルールの変更に 対応した改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が予約変更・キャンセルを行うことができる予約システムの有用性を確認した。必要に応じて予約ルールに対応した改修を行う必要がある。</li> </ul>	25,26
		3-9	位置情報提供・利用に 対応した改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・位置情報の提供および利用方法（課題3-7）の検討を踏まえ、予約システムの改修を行う必要がある。</li> </ul>	14,15

対象		課題		社会実装に向けた対応方針	資料2 該当頁
貸出・返却	ダメージチェック	4-1	効率的なダメージチェック及びダメージ発見時に迅速に対応できる方法や体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験において、利用者（陸運事業者）がシェアリングシャーシの利用開始時、返却後に点検表を用いてダメージチェックを実施し、点検表を提出する方法について確認した。</li> <li>・原因が特定できないダメージの対応や緊急時の対応については検討する必要がある。</li> </ul>	16
	貸出シャーシの管理	4-2	予約した時間より早く返却されたシャーシを、貸出可能なシャーシとして予約を開始する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期返却後、利用者が予約システムにおいて返却の旨を報告することで、当該シャーシが貸出可能となるようにシステム改修を検討する必要がある。</li> </ul>	5
管理	シャーシの所在管理	5-1	シャーシの所在確認方法の検討	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェアリングシャーシへの位置情報端末の設置やシャーシプールへの監視カメラの設置により管理する。</li> </ul>	14,15
	事故・損傷時等の対応	5-2	事故時の対応や責任分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実証実験において、事故時の対応や責任分担等を明確化して作成した利用者向けの対応マニュアルを確認した。</li> <li>・緊急時の利用者の臨機な対応については検討する必要がある。</li> </ul>	27
		5-3	消耗品（タイヤ、灯火電球）の交換への対応や責任分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品の不具合等発生時の対応や責任分担を明確化した利用者（陸運事業者）向けの対応マニュアルを作成する必要がある。</li> </ul>	27
	車両出入管理	5-4 (追加)	車両出入管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ナンバー認証カメラ、RF-ID、ETC2.0など活用が可能な技術について、各技術の特性、シャーシプールの設置場所、規模などを踏まえて導入技術を選定する必要がある。</li> </ul>	17